

三脚式プロジェクタースクリーン 取扱説明書 Ver.1



■サイズ表(単位:cm)※スクリーンを開いた状態でのおよその設置時サイズ

	幅	三脚を含む高さ	三脚奥行	投影面幅	投影面高さ
RA-PSSK72	169.5	150	65	152	85

安全上のご注意(安全のために、必ずお守りください)

この度は本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
※本書はお読みになった後も大切に保管してください。

■図記号について

この取扱説明書および製品での表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様ご自身や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するため、下記の表示をしています。

	この図記号は「気をつけるべきこと(注意)」を意味しています。
	この図記号は「してはいけないこと(禁止)」を意味しています。
	この図記号は「必ず実行していただきたいこと(強制)」を意味しています。

警告 下記の警告を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

重いものを上に置かないでください。

バランスがくずれて本製品が落下や転倒し、破損やけがなど思わぬ事故の原因になります。

ストーブや熱器具のそばに設置しないでください。

火災の原因になります。

風を直接スクリーンに当てないでください。

本製品が転倒し、破損やけがなど思わぬ事故の原因になります。スクリーンを広げた状態で扇風機やエアコンなどの風が直接当たらないように設置してください。

不安定な場所に設置しないでください。

本製品が落下や転倒し、破損やけがなど思わぬ事故の原因になります。

傾いた状態で設置しないでください。

本製品が転倒し、破損やけがなど思わぬ事故の原因になります。

ストッパーはポールやスクリーンを持って調節してください。

ポールやスクリーンを持たずにロックを解除した場合、スクリーンの重みでポールがスライドし、ケガ等の原因になります。

注意 下記の注意を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および財産に損害が発生する可能性がある内容を示しています。

お子様が触らない様ご注意ください。

指はさみなどお子様のけがの原因や本製品の破損の原因になります。

スクリーン本体に寄りかからないでください。

本製品が転倒し、破損やけがなど思わぬ事故の原因になります。

スクリーンに尖ったものを近づけないでください。

スクリーンの破損の原因になります。

スクリーンの持ち運びは完全に収納してから行ってください。

スクリーンの収納が不完全な状態ですと、破損やけがなど思わぬ事故の原因になります。

スクリーンの開き方

上下のストッパーの調整は必ずポールを持って行ってください。ポールを持たずにロックを解除した場合、フックやスクリーンの重みでポールがスライドし、ケガ等の原因になります。

1 ●上ストッパー

締まる ゆるむ

スクリーンの開閉は必ず二人以上で行ってください。

2

本体を立たせる際は、天井や床に当たらない様ご注意ください。

《床に寝かせた状態で》『上ストッパー』のロックを解除し、フックをスライドさせ、フックを固定穴から外し、再度『上ストッパー』をロックします。

本体をゆっくりと立たせ、三脚を完全に広がるように開きます。

3 ※後ろから見た図

上ストッパーのロックを解除する際は必ずポールを持って、フックが落ちるのを防いでください。

回転させる際は、周囲の壁や家具、物や人などに当たらない様ご注意ください。

4

フックに引っ掛ける際に指などはさまない様、十分にご確認ください。

スクリーンを90度回転し、横に倒します。

スクリーンを上引き出し、吊り金具をフックに引っ掛けます。

5

ストッパーの調整はポールやスクリーンを持って行ってください。スクリーンが落ちて、ケガ等の原因になります。

6

スクリーンを引き出す際は、重たくなっていますので、ご注意ください。

『下ストッパー』を下げ、スクリーンを広げます。

『上ストッパー』のロックを解除し、スクリーンを全て引き出します。『上ストッパー』のロックをしたら完了です。

お取り扱い上の注意

- スクリーンの映写性能を損なわないために、以下の点にご確認ください。
 - ・スクリーン表面に直接手を触れないでください。
 - ・スクリーンを折り曲げたりする行為はしないでください。
 - ・スクリーンに文字や絵を書かないでください。
 - ・スクリーンを硬いものでこすったり、ひっかいたりしないでください。
 - ・ベンジンやシンナーでスクリーン表面を拭かないでください。
- スクリーン表面のほこりは、乾いた布で優しく拭いてください。

スクリーンの収納方法

! 上下のストッパーの調整は必ずボールを持って行ってください。ボールを持たずにロックを解除した場合、フックやスクリーンの重みでボールがスライドし、ケガ等の原因になります。

1

! スクリーンの開閉は必ず二人以上で行ってください。

ストッパーの調整はボールやスクリーンを持って行ってください。スクリーンが落ちて、ケガ等の原因になります。

可動部分で指などはさまない様、十分にご注意ください。

※後ろから見た図

『上ストッパー』のロックを解除し、スクリーンを下へ引き下げ、ロックします。次に、『下ストッパー』のロックを解除し、『下ストッパー』を上へ上げ、ロックします。

2

フックから外す際に指などはさまない様、十分にご注意ください。

※後ろから見た図

スクリーンの吊り金具をフックから外し、スクリーンを収納します。

3

回転させる際は、周囲の壁や家具、物や人などに当たらない様ご注意ください。

ストッパーのロックを解除した際は必ずボールを持って、フックが落ちるのを防いでください。

※後ろから見た図

スクリーンを90度回転し、縦にします。

4

本体を持ち上げる際は、天井や床に当たらない様ご注意ください。

本体全体を持ち上げながら、三脚をゆっくり閉じます。

5

本体を床に寝かす際は、天井や床に当たらない様ご注意ください。

本体を床に寝かせ、『上ストッパー』のロックを解除し、フックをスライドさせ、フックを固定穴に差し込みます。『上ストッパー』をロックし、完成です。

三脚式プロジェクタースクリーン 取扱説明書 Ver.1.1



■サイズ表(単位:cm) ※スクリーンを開いた状態でのおよその設置時サイズ

	幅	三脚を含む高さ	三脚奥行	投影面幅	投影面高さ
RA-PSSK84	197	200	70	178	111
RA-PSSK100	230	204	82	214	125

安全上のご注意(安全のために、必ずお守りください)

この度は本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
※本書はお読みになった後も大切に保管してください。

■図記号について

この取扱説明書および製品での表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様ご自身や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するため、下記の表示をしています。

	この図記号は「気をつけるべきこと(注意)」を意味しています。
	この図記号は「してはいけないこと(禁止)」を意味しています。
	この図記号は「必ず実行していただきたいこと(強制)」を意味しています。

警告 下記の警告を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

重いものを上に置かないでください。

バランスがくずれて本製品が落下や転倒し、破損やけがなど思わぬ事故の原因になります。

ストーブや熱器具のそばに設置しないでください。

火災の原因になります。

風を直接スクリーンに当てないでください。

本製品が転倒し、破損やけがなど思わぬ事故の原因になります。スクリーンを広げた状態で扇風機やエアコンなどの風が直接当たらないように設置してください。

不安定な場所に設置しないでください。

本製品が落下や転倒し、破損やけがなど思わぬ事故の原因になります。

傾いた状態で設置しないでください。

本製品が転倒し、破損やけがなど思わぬ事故の原因になります。

ストッパーはポールやスクリーンを持って調節してください。

ポールやスクリーンを持たずにロックを解除した場合、フックやスクリーンの重みでポールがスライドし、ケガ等の原因になります。

注意 下記の注意を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および財産に損害が発生する可能性がある内容を示しています。

お子様が触らない様ご注意ください。

指はさみなどお子様のけがの原因や本製品の破損の原因になります。

スクリーン本体に寄りかからないでください。

本製品が転倒し、破損やけがなど思わぬ事故の原因になります。

スクリーンに尖ったものを近づけないでください。

スクリーンの破損の原因になります。

スクリーンの持ち運びは完全に収納してから行ってください。

スクリーンの収納が不完全な状態ですと、破損やけがなど思わぬ事故の原因になります。

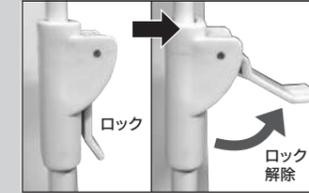
免責事項

●本取扱説明書の図は製品の動作を説明するための例示であるため、実物と異なる場合があります。また、本取扱説明書は予告なしに変更されることがあります。●本書および本製品使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求につきましても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
●最新の取扱説明書は弊社HPよりダウンロードが可能です。 <http://www.ikesho-n.jp>

スクリーンの開き方

上下のストッパーの調整は必ずポールを持って行ってください。ポールを持たずにロックを解除した場合、フックやスクリーンの重みでポールがスライドし、ケガ等の原因になります。

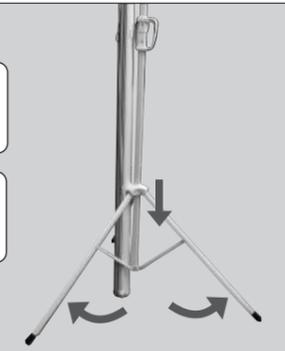
① ●上ストッパー



スクリーンの開閉は必ず二人以上で行ってください。

②

可動部分で指などをはさまない様、十分にご確認ください。
 本体を立たせる際は、天井や床に当たらない様ご注意ください。



《床に寝かせた状態で》『上ストッパー』のロックを解除し、フックをスライドさせ、フックを固定穴から外し、再度『上ストッパー』をロックします。

本体をゆっくりと立たせ、三脚を完全に広がるように開きます。

③

※フックはこの位の高さまで下げておくと安全に作業ができます。



回転させる際は、周囲の壁や家具、物や人などに当たらない様ご注意ください。

上ストッパーのロックを解除する際は必ずポールを持って、フックが落ちるのを防いでください。

※後ろから見た図

スクリーンを90度回転し、横に倒します。

④



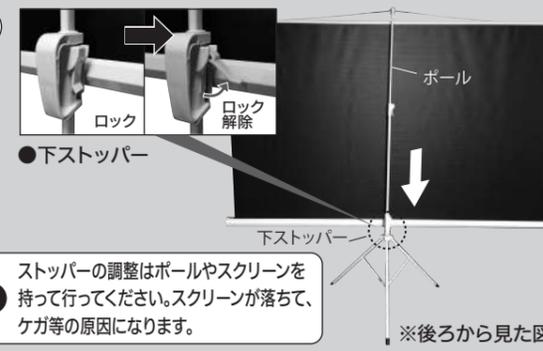
フックに引っ掛ける際に指などはさまない様、十分にご確認ください。



※後ろから見た図

スクリーンを上引き出し、吊り金具をフックに引っ掛けます。

⑤

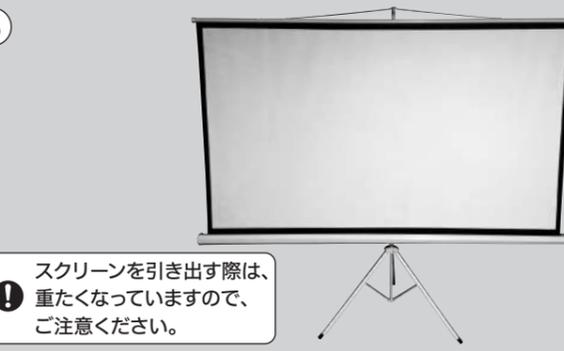


ストッパーの調整はポールやスクリーンを持って行ってください。スクリーンが落ちて、ケガ等の原因になります。

※後ろから見た図

『下ストッパー』を下げて、スクリーンを広げます。

⑥



スクリーンを引き出す際は、重たくなっていますので、ご注意ください。

『上ストッパー』のロックを解除し、スクリーンを全て引き出します。『上ストッパー』のロックをしたら完了です。

お取り扱い上の注意

●スクリーンの映写性能を損なわないために、以下の点にご確認ください。

- ・スクリーン表面に直接手を触れないでください。
- ・スクリーンを折り曲げたりする行為はしないでください。
- ・スクリーンに文字や絵を書かないでください。
- ・スクリーンを硬いものでこすったり、ひっかいたりしないでください。
- ・ベンジンやシンナーでスクリーン表面を拭かないでください。

●スクリーン表面のほこりは、乾いた布で優しく拭いてください。

スクリーンの収納方法

! 上下のストッパーの調整は必ずポールを持って行ってください。ポールを持たずにロックを解除した場合、フックやスクリーンの重みでポールがスライドし、ケガ等の原因になります。

1 **!** スクリーンの開閉は必ず二人以上で行ってください。

ストッパーの調整はポールやスクリーンを持って行ってください。スクリーンが落ちて、ケガ等の原因になります。

可動部分で指などはさまない様、十分にご注意ください。

上ストッパー
下ストッパー

※後ろから見た図

『上ストッパー』のロックを解除し、スクリーンを下へ引き下げ、ロックします。次に、『下ストッパー』のロックを解除し、『下ストッパー』を上へ上げ、ロックします。

2

フックから外す際に指などはさまない様、十分にご注意ください。

●フック

※後ろから見た図

スクリーンの吊り金具をフックから外し、スクリーンを収納します。

3

※フックがスクリーンに干渉し回転出来ない場合はフックを上まで伸ばして回転が出来るようにしてください。

回転させる際は、周囲の壁や家具、物や人などに当たらない様ご注意ください。

ストッパーのロックを解除した際は必ずポールを持って、フックが落ちるのを防いでください。

スクリーンを90度回転し、縦にします。

4

本体を持ち上げる際は、天井や床に当たらない様ご注意ください。

本体全体を持ち上げながら、三脚をゆっくり閉じます。

5

本体を床に寝かす際は、天井や床に当たらない様ご注意ください。

固定穴
フック

本体を床に寝かせ、フックを固定穴に差し込み、固定したら完了です。